

【指導案】

“自分”深掘りワークシート①いまの自分を知ろう

◆ねらい

将来の進路を考えるために、自分を理解し、自分の性格や適性などを知る

◆生徒の準備物

①ワークシート

②筆記用具

③（もしあれば）活動報告書や年間振り返り、ポートフォリオなどこれまでの活動をまとめた資料

◆教員の準備物

④生徒の端末がインターネットに接続できる環境

⑤時間を計るもの

from 『螢雪時代臨時増刊』 進学プランニングBOOK

[illegible]

開始時間	終了時間	所要時間(分)	生徒のワーク・学習活動	ファシリテーション原稿案（カッコ内は先生の説明内容）	ワークが進んでいない生徒への声掛け
0:00	0:05	5	〈オリエンテーション〉 この時間の目的や進め方の理解	▶「このワークシートでは、『いまの自分を知ろう』をテーマに、自分の興味関心や強み、適性について考えていきましょう。」 ▶「学びたい学問や就きたい仕事など、自分の将来を考えるにあたり『自分の興味関心を知ること』は大事なので、楽しんで取り組んでいきましょう。」	
0:05	0:13	8	Q1:これまでに取り組んだこと、力を入れたこと	▶「小・中学校やこれまでの高校生活で取り組んだこと、力を入れたことを振り返り、項目例に沿って書いてみましょう。」 ▶「項目例にあるように、探究活動や生徒会・委員会活動、部活動などについて書いてみましょう。」 ▶「では、7分計るので取り組んでください。」 （※生徒に指示する取り組み時間については、説明時間を考慮し、左上の所要時間から1分間を差し引いています）	▶「何か賞を取ったり、よい結果だったことを書く必要はありません。やっていて夢中になれたことや楽しかったことを書いてみましょう。」
0:13	0:16	3	Q2:自分の性格や適性	▶「自分の性格や適性として、当てはまると感じるものを○で囲んでみましょう。複数選択してもよいので選んでみましょう。」 ▶「では、2分計るので取り組んでください。」	▶「自分で思いつかなかったら、友達や家族からよく言われる性格や特徴について思い出してみましょう。」
0:16	0:24	8	Q3:性格や適性を発揮した具体的なエピソード	▶「Q2で○を囲んだ性格や適性について、具体的なエピソードを振り返り、回答例に沿って書いてみましょう。」 ▶「もし、すぐに思いつかなければ、近くの人に聞いてみてもいいし、あとで家族、友達にインタビューをして記入してみましょう。」 ▶「では、7分計るので取り組んでください。」	▶「これまでの学校生活や日常の中で、自分らしく頑張れた！と思う出来事がありますか？」等と声掛け。

【指導案】 進学プランニングBOOK “自分”深掘りワークシート①いまの自分を知ろう

開始 時間	終了 時間	所要 時間 (分)	生徒のワーク・学習活動	ファシリテーション原稿案（カッコ内は先生の説明内容）	ワークが進んでいない生徒への声掛け
0:24	0:33	9	Q4:今、取り組んでいる趣味や好きなこと Q5:趣味や好きなことについての内容や始めたきっかけ、魅力		
Q 4 今、取り組んでいる趣味や好きなもの・ことを○で囲みましょう（複数選択可）。 読書 スポーツ 音楽 料理 写真 旅行 勉強 映画 ゲーム ペット その他（ ） Q 5 Q 4 で選んだ趣味や好きなもの・ことについて、具体的な活動内容や、始めたきっかけ、その趣味の魅力などを書きましょう。 (回答例)好きなアーティストにあってギターを始め、友達とバンドを組んで週に2回、練習しています。難しいフレーズが弾けたときや、みんなでびったりと音を合わせられたときの達成感が魅力です。				▶「今、取り組んでいる趣味や好きなもの・ことを○で囲んでみましょう。複数選択してもよいので選んでみましょう。」 ▶「Q4で選んだ趣味や好きなもの・ことについて、具体的な活動内容や、始めたきっかけ、その趣味の魅力などをできる限り具体的に書いてみましょう。」 ▶「では、8分計るので取り組んでください。」	▶「趣味を始めたきっかけを考えてみましょう。」 ▶「活動を通してどんなことに挑戦したかを書いてみましょう。」
0:33	0:40	7	Q6:好き、得意な教科・科目とその理由		
Q 6 好きな、あるいは得意な教科・科目は何ですか？ また、それはどうしてなのか、理由も書きましょう。（複数記入可） (回答例)世界史が好きです。理由は、ローマ帝国を題材にしたマンガを読んで、古代の文化に興味を持ったからです。				▶「好きな、あるいは得意な教科・科目となぜ得意なのかを考えてみましょう。複数記入も可能です。」 ▶「では、6分計るので取り組んでください。」	▶「学校の授業で少しでも、面白い！と思った学びは何か考えてみましょう。」 ▶「逆に苦手な科目と比較してどんなところが違うのか考えてみましょう。」
0:40	0:47	7	Q7:最近のニュースや世の中の動きで気になること、興味のあること		
Q 7 最近のニュースや世の中の動きで気になること、興味のあることを、その理由とあわせて書きましょう。 (回答例)地域格差について。祖母が住む町は人口が減り、バスの本数や病院の数なども減っていると聞いたからです。 気になること、興味のあること ----- その理由				▶「最近のニュースや世の中の動きで興味のあること、疑問に思うことを、その理由も合わせて書いてみましょう。」 ▶「では、6分計るので取り組んでください。」	▶「国内だけではなく海外の出来事にも目を向けてみましょう。」 ※時間があれば、タブレット端末などやスマートフォンで最近のニュースについて調べる時間をとっても良い。
0:47	0:50	3	まとめ・振り返り	▶「この授業では、今の自分を知ることができ、自分の性格と興味のあることが言語化できたと思います。」 ▶「また、この時間で記入できなかったことは、自分で時間を取ってぜひ考えてみてください。」 ▶「このあと、自分が就きたい職業や学びたい学問について、より深めていく時にも重要なシートになります。なくさずに持っておき、定期的に振り返ったり付け加えたりしましょう。」	

MEMO

【指導案】

“自分”深掘りワークシート②未来の自分をイメージしよう from『螢雪時代臨時増刊』進学プランニングBOOK

◆ねらい
人生で成し遂げたいこと、自分に向いている仕事を考え、学部・学科・学校研究を行う

◆生徒の準備物

- ①ワークシート
- ②螢雪時代4月臨時増刊「学部・学科イラストガイド」
※事前に「パスナビ for School」でデータをダウンロードして、生徒に配布しておく
- ③筆記用具
- ④スマホ・タブレットなどインターネットに接続する端末

◆教員の準備物

- ⑤生徒の端末がインターネットに接続できる環境
- ⑥時間を計るもの



開始 時間	終了 時間	所要 時間 (分)	生徒のワーク・学習活動	ファシリテーション原稿案（カッコ内は先生の説明内容）	ワークが進んでいない生徒への声掛け
0:00	0:05	5	〈オリエンテーション〉 この時間の目的や進め方の理解	▶「この時間では、自分が将来どんな仕事をしたいのか、どんな学問を学んでみたいのか、について考えていきます。」 ▶「進め方は、資料やWEBサイトを見ながらワークシートにまとめていきます。」 ▶ワークシート①で自分の性格や適性、興味などを整理したと思うので、もし書けないところがあればワークシート①に戻って確認してみましよう。」	※資料をデータで配布する場合は端末に送られているかどうかを確認しておく
0:05	0:09	4	Q1:将来の生活の中で大事だと思ふもの、手に入れたいと思ふもの	▶「将来の生活の中で大事だと思ふもの、手に入れたいと思ふものについて選んでみましょう。複数選択も可能です。」 ▶「では、3分計るので取り組んでください。」 （※生徒に指示する取り組み時間については、説明時間を考慮し、左上の所要時間から1分間を差し引いています）	▶「自分が何にでもなれるとしたら、どんなものを大事にしたいか、手に入れたいと思ふかを考えてみましょう。」
0:09	0:12	3	Q2:仕事やプロジェクトの取り組み方として自分に向いているもの	▶「仕事やプロジェクトへの取り組み方について、自分に向いていると思ふものを1つ選んでみましょう。」 ▶「では、2分計るので取り組んでください。」	▶「3つの選択肢の中から、直感でいいのでこれだと思ったものを選んでみましょう。」
0:12	0:19	7	Q3:将来、就きたい職業や自分に向いている職業 Q4:Q3で挙げた職業に必要な知識や能力、資格	▶「Q3では将来就きたい仕事、Q4ではその仕事について求められる力について書いていきます。」 ▶「螢雪時代6月臨時増刊に職業ガイドが載っているので、それを参照しながら進めてみましょう。」 ▶「職業名が難しい場合は例のように、『語学や歴史が好きなので、その知識を生かせる仕事』や『海外の国について理解を深められる仕事』などという形で書いてみましょう。」 ▶「では、6分計るので取り組んでください。」	▶「Q3 具体的な職業名が思い浮かばない場合は、例えば『英語を使う仕事』や『海外で働く仕事』など、『どんな仕事か』を書いてみましょう。」 ▶「Q4 螢雪時代6月臨時増刊『職業ガイド』を使って興味関心から調べてみましょう。」
			Q3 将来、就きたい職業や自分に向いている職業を考えて書いてみましょう。 6分 『螢雪時代6月臨時増刊』を参照しましょう。 (回答例) 語学や歴史が好きなので、その知識が活かせる通訳やガイドなどの仕事に就きたいです。 Q4 Q3で挙げた職業に必要な知識や能力、資格について考えて書いてみましょう。 6分 『螢雪時代6月臨時増刊』を参照しましょう。 (回答例) 英語でのコミュニケーション力のほか、海外の国や日本の文化についても知識を深めたいです。		

【指導案】 進学プランニングBOOK “自分”深掘りワークシート②未来の自分をイメージしよう

開始 時間	終了 時間	所要 時間 (分)	生徒のワーク・学習活動	ファシリテーション原稿案（カッコ内は先生の説明内容）	ワークが進んでいない生徒への声掛け								
0:19	0:22	3	ワーク後半の進め方理解	▶「後半については学問について深めるワークを行っていきます。 ▶「螢雪時代4月臨時増刊『学部・学科イラストガイド』を参照しながら、学びたい学問について深めていきましょう。」	※インターネット接続が難しい場合は、友人の端末を見せてもらうように指示する。								
0:22	0:25	3	Q5:自分に向いている、あるいは進学したい分野		▶「進学したい分野が2つ以上あって迷った人は、螢雪時代4月臨時増刊『学部・学科イラストガイド』を見ながらまず1つ選んでみましょう。時間が限られているので別の分野についても他の時間にやってみましょう。」								
Q 5 Q3・Q4で挙げた職業や身につけたいことを踏まえて、自分に向いている、あるいは進学したいと思う学部学科系統の一つを選んでみましょう。 4分 「螢雪時代4月臨時増刊」を参照しましょう。 【主に文系学部】 文学部系統 外国語学部系統 人文・教養・人間科学部系統 教育・教員養成系学部系統 法学部系統 経済・経営・商学部系統 社会・社会福祉学部系統 国際関係学部系統 【主に理系・技能系学部】 理学部系統 工学部系統 農・獣医畜産・水産学部系統 医学部系統 歯学部系統 薬学部系統 看護・医療・栄養学部系統 家政・生活科学部系統 体育・健康科学部系統 芸術学部系統				▶「自分に向いている、あるいは進学したい分野について、1つ選んでみましょう。」 ▶「では、2分計るので取り組んでください。」									
0:25	0:35	10	Q6:学部・学科系統のどんな点にひかれたか Q7:具体的にどんなことを学んでみたいか										
Q 6 Q5で選んだ学部・学科系統のどんな点にひかれたか、自分の将来と関連づけて書いてみましょう。 4分 「螢雪時代4月臨時増刊」を参照しましょう。 (図答例) 語学だけでなく海外の文化について学べるところが、通訳などの仕事に活かせると思いました。 Q 7 Q5で選んだ学部・学科系統で、具体的にどんな内容を学んでみたいか、考えて書いてみましょう。 4分 「螢雪時代4月臨時増刊」を参照しましょう。 (図答例) 英語圏、特にイギリスの歴史や文化、日本との関係などについて学びたいです。				▶「螢雪時代4月臨時増刊『学部・学科イラストガイド』を見て、学べる学問の内容から抜き出してみましょう。」 ▶「オープンキャンパスなどに参加したり、これまで学問について自分なりに研究したことがあったらその点についても書き記してみましょう。」 ▶「では、9分計るので取り組んでください。」	▶「学部・学科イラストガイドに『○○学』という学問が細かく載っているので、その内容を参考にしてみましょう。」 ▶「その分野に関心を持ったきっかけなどを考えてみましょう。」								
0:35	0:46	11	Q8:大学・学部を探して書いてみよう										
Q 8 Q7で書いた内容を学べる大学・学部・学科を探して書いてみましょう。 4分 パスナビ 『螢雪時代4月臨時増刊』および旺文社「大学受験パスナビ」(https://passnavi.obunsha.co.jp/) で調べてみましょう。 <table><tr><th>大学名</th><th>学部・学科名</th></tr><tr><td>大学</td><td>学部 学科</td></tr><tr><td>大学</td><td>学部 学科</td></tr><tr><td>大学</td><td>学部 学科</td></tr></table>				大学名	学部・学科名	大学	学部 学科	大学	学部 学科	大学	学部 学科	▶「最後に興味のある分野の大学・学部・学科を調べてみましょう。」 ▶「『パスナビ』を開いてみましょう。」 ▶「『パスナビ』は学部・学科系統ごとに並んでいるので、選んだ学部・学科系統の中から気になる大学を複数選んでまとめてみましょう。知っている大学だけではなく知らない大学も書いてみましょう。」 ▶「では、10分計るので取り組んでください。」	▶「学部・学科系統で学べる大学が都道府県ごとに並んでいます。国公立・私立や都道府県で絞り込めるのでやってみましょう。」
大学名	学部・学科名												
大学	学部 学科												
大学	学部 学科												
大学	学部 学科												
0:46	0:50	4	まとめ・振り返り	▶「今日の1時間を通して、自分が将来どんな仕事をしたいのか、それからどんな学問を学びたいのかについて視野が広がったと思います。」 ▶「ただ、この時間だけでは調べ足りなかったと思うので、別途自分でも調べてみたり、大学のオープンキャンパスに参加するなどしてより深めてみましょう。」									

MEMO